

3. 2 小学校3・4年生（3－1） 指導の概略

Ⅲ. 地域の津波被害を考える A. 過去の津波被害を知る

指導する学年	小学校3年生	指導する時間	特別活動 (学級活動)	指導する時数	1時間 (本時1/2)
目 標	三陸沿岸における津波の歴史と津波の被害について調べ、進んで避難しようとする態度を育てる。				
使用する資料	【写真01～04】過去の津波による釜石市の被害 【写真-13】釜石市内にある石碑 【資料-07】地震・津波年表 【資料-08】今後30年間の地震発生確率 【print-231】被災の歴史				

1. 導入

(1) 津波に関する石碑の写真を見て、これらを見たことがあるかを思い出させる。

【写真-13】釜石市内にある石碑

(2) 学習課題を把握する。

2. 展開

(1) 津波の歴史年表を見て、過去に襲来した津波について調べ、気付いたことを発表する。

【資料-07】地震・津波年表

(2) 過去の津波によって被災した釜石市の様子を確認する。

【写真-01～04】過去の津波による釜石市の被害

(3) 今後、釜石市に被害が生じると予測されている地震・津波の発生確率を確認する。

【資料-08】今後30年間の地震発生確率(2003年発表)

3. まとめ

(1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。

【print-231】被災の歴史

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

4. 確認

(1) 三陸沿岸における津波の歴史と被害について知ることができたか？

(2) 今後発生が予想されている地震・津波を知り、進んで避難しようという態度をもつことができたか？

関連する
教科・行事等

3. 2 小学校3・4年生（3-1） 指導の注意点

1. 導入

(1)津波に関する石碑の写真を見て、これらを見たことがあるかを思い出させる。

→どうしてこのような石碑が建てられているのかに思いをはせる

(2)学習課題を把握する。

2. 展開

(1)津波の歴史年表を見て、過去に襲来した津波について調べ、気付いたことを発表する。

→岩手県に襲来した津波をピックアップしてみる

→津波はどれくらいの間隔でやってきているのか、津波による被害者はどれくらいかなどをおさえる

(2)過去の津波によって被災した釜石市の様子を確認する。

→津波が来ると街は壊滅的な被害を受けてしまうことを確認する

(3)今後、釜石市に被害が生じると予測されている地震・津波の発生確率を確認する。

→近い将来、避難を必要とするような津波が襲来する可能性が高いことを知り、避難しなければならないことをおさえる

3. まとめ

(1)学習して気付いたことをプリントに記入する。

(2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

→近い将来、避難を必要とするような津波が襲来する可能性が高いことを知り、避難しなければならないことをおさえる



【写真-13】

釜石市市内にある石碑

三陸地域を襲った主な地震と津波

西暦(和暦)	震源地(名物)	津波襲来と被害
1896年(明治29年)	三陸沖	マグニチュード8.5、明治三陸津波襲来。地震後約35分で三陸地方一帯に津波が襲来。津波の高さは小田沢で16メートル、岡石で14.6メートルを記録している。釜石市全体の死者は約700人。
1933年(昭和8年)	三陸沖	マグニチュード8.3、昭和三陸津波襲来。浜では家や舟を流され、町の中では大きな火災が発生した。岡石で津波の高さ9.5メートル、小白浜で6.0メートルを記録している。釜石市全体の死者は行方不明者を含め約400人。
1952年(昭和27年)	十勝沖	マグニチュード8.2、十勝沖地震津波襲来。2.5メートルの津波が襲来。釜石市市場は浸壊している。
1960年(昭和35年)	南米西部	マグニチュード8.5、チリ地震津波襲来。地球の反対側南米チリ沖で起こった地震により津波が発生。約3週間かけて日本まで津波がやってきた。津波の高さは小田沢で4.0メートル、釜石で3.5メートルを記録している。
1978年(昭和53年)	宮城県沖	マグニチュード7.5、宮城県沖地震発生。大船渡で震度5を記録。太平洋側で津波が観測されたが、被害の報告はなかった。宮城県では死者28人。
1994年(平成6年)	三陸はるか沖	マグニチュード7.5、青森県八戸市で震度4、死者3人。東北地方太平洋側に津波警報が発せられ、多数の避難勧告等を出した。各地で津波の被害はされているが、被害は報告されていない。
2003年(平成15年)	宮城県沖	マグニチュード7.0、震源の深さは71km。大船渡で震度6弱、釜石で震度5強を記録。津波はなかったが、多数の避難勧告等を出した。
2003年(平成15年)	宮城県北部	マグニチュード5.3～6.2、震源の深さは12kmと深く、宮城県で震度6弱から6強の地震が同日内に3回発生した。大手原で震度4、釜石市で震度3を記録。宮城県では甚大な被害を生じた。

【資料-07】

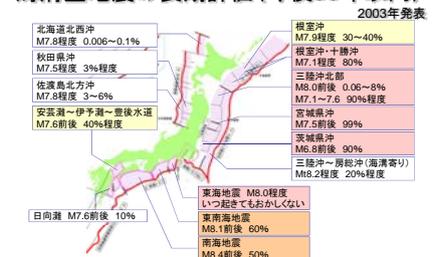
地震・津波年表



【写真-02】1933年

昭和三陸地震津波による釜石市の被害

海溝型地震の長期評価(今後30年以内)



【資料-08】

今後30年間の地震発生確率